

## 令和7年度 学校評価について

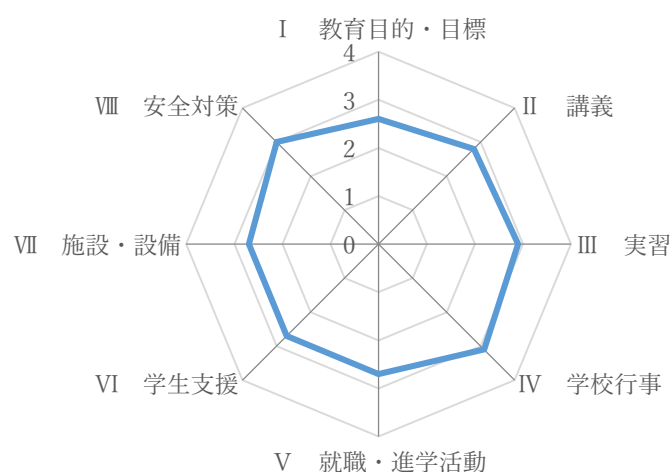
### 1 実施方法

評価については、アンケート形式で在学生（休学者除く。）を対象に行いました。

アンケートは、学生それぞれ8分野について、4「大いに～である」から1「全く～ではない」の4段階で評価し、集計後、各分野の平均点を求めています。

### 2 評価結果

#### (1) 学生評価（回答率 100%）



(n = 105)

カテゴリー	点数	取組方針等
I 教育目的・目標 (1項目)	2.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の看護教育の根本理念であり、教員・学生とも適時これを理解し振り返る機会を持つ必要がある。</li> </ul>
II 講義 (4項目)	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>シラバスについては、概ね浸透している。</li> <li>講義及び指導方法に関しては、今年度から講義アンケートを実施し、その結果を参考に指導内容の見直しを行う。</li> <li>教員に対して質問しにくいと感じている学生もおり、質問しやすい関係の構築が求められる。</li> </ul>
III 実習 (5項目)	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習は医療機関、福祉施設等のご厚意、ご協力によって成立するものであることを十分理解し、教員・学生ともに最大限の成果をあげられるよう取り組む必要がある。</li> <li>実習機関との調整を徹底し、実習内容の見直し、連絡体制の確保、指導体制の改善に取り組む必要がある。</li> </ul>

IV 学校行事 (3項目)	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事を通して、学校生活の充実や人間性・社会性の向上を図り、学生の意見を取り入れながら、参加しやすい日程、内容に見直す等、配慮していく必要がある。</li> </ul>
V 就職・進学活動 (2項目)	2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職や進学は学生の将来にとって重要な事項である。学生の希望や思いに寄り添い、信頼を得られる関係作りに努め、相談体制を構築する必要がある。</li> </ul>
VI 学生支援 (6項目)	2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が真摯に受け止め、学生への対応、指導方法等を見直し、信頼を得るための取り組みを進めていく必要がある。</li> </ul>
VII 施設・設備 (1項目)	2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新校舎建設を控えているため、可能な範囲での改善に取り組み、意見を新校舎に反映させる必要がある。</li> </ul>
VIII 安全対策 (2項目)	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関しては、入学時のオリエンテーションのほか、避難訓練や災害関連の講義の際に周知を図っていく。</li> <li>・保険についても、認知度を高めるための周知・啓発を実施していく。</li> </ul>